

戦前回帰の監視体制

土地規制法をただす

核井国俊

戦前の監視社会を復活させる恐れがあると指摘される「土地規制法」をめぐる、識者らがその危険性をめぐって論じている。

6月16日付の沖縄タイムスと琉球新報は一面トップで「土地規制法成立へ」と報じた。他の紙面にも「戦前逆進の悪法」「県民私権制限」「沖縄つぎし・市民抗議」などの見出しが大きな字で並べられている。本土紙には「ようやく大きく取り上げたものはな、いかに沖縄にとって重大な悪法が制定されたのか」という地元メディアの認識を雄弁に物語っている。

「土地規制法」は、先行する「特定秘密保護法」「共謀罪法」の2法と相まって、治安維持法が支配した戦前型の監視社会へと戻す悪法である。在日米軍基地の7割が集中する沖縄では、基地がもたらす諸問題に抗議する市民の音が絶えぬことがない。コロナで政権交代などの報道に目を奪われがちだが日々が続いているが、沖縄の市民の言論の自由を封じようとする悪法が成立



Kenji Kunii (核井国俊) 1943年 成にかかわる。2000年から沖縄生まれ。東京大学(工学博士)。専攻し、沖縄大学の元学長・名誉教授。WHO・JICAなど途中国の環境、土地規制法の廃止を求める沖縄問題を取り組む。20年以上にわたる 県民有志の会・共同代表。沖縄環境つて青年海外協力の環境隊員の青 ネットワーク世話人。

したと見逃してはならない。

米軍の廃棄看過

「土地規制法」が施行される何かが起るかを、同法制

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

防衛名目に沖縄弾圧狙う

宮城さん宅搜索「悪夢」の前触れ



4月7日、米軍北部訓練場のメインゲートに置かれた米軍廃棄物(宮城秋乃さんのブログより)

定の前に示したのはチョウ類研究者の高城秋乃さんであった。筆者は「沖縄環境ネットワーク」のINGOの活動を行っており、「沖縄環境ネットワーク」を通じて沖

んは自衛隊が存在するために、汚染の責任をどうとしない米軍や十分な浄化作業しか行わない防衛局、それに遺棄弾薬の満足な捜査を行わない県警に業を煮やした宮城さんは、回収した廃棄物を4月7日に東村高江にある北部訓練場のメインゲートに置き、米軍車両や軍用員の通行を妨害したとして威力業務妨害の疑いで県警に家宅搜索されたのである。

「土地規制法」は、先行する「特定秘密保護法」「共謀罪法」の2法と相まって、治安維持法が支配した戦前型の監視社会へと戻す悪法である。在日米軍基地の7割が集中する沖縄では、基地がもたらす諸問題に抗議する市民の音が絶えぬことがない。コロナで政権交代などの報道に目を奪われがちだが日々が続いているが、沖縄の市民の言論の自由を封じようとする悪法が成立

「土地規制法」は、自衛隊基地・米軍基地・原発のまわりや国境離島などの土地の利用を規制する法律であり、メディアは「土地規制法」と略称しているがその本質は市民・住民規制法である。沖縄は国境離島であり、国土面積の0.6%を占めるにもかかわらず、在日米軍基地の70.6%がある。また2013年の「防衛大綱」による自衛隊の「南西シフト」により、琉球弧の島々では次々と自衛隊基地が拡充整備されている。本法の影響を第一に被るのは、間違いなく沖縄である。この法律の最大の問題は、表現の自由が圧殺されることである。自身に関する具体的な情報が知らぬうちに国によって収集され、そのように利用されるかが分らず、不当な人物判定がなされる恐れがある。思想信条の自由やプライバシーを侵害する治安立法の性格が極めて強い。土地や建物の所有者や利用者その他の関係者を対象とする情報収集の権限を国に与えているが、国会答弁において政府は情報提供を命ずるだけで

な。住民の方から情報を寄せた窓口設置も検討していると述べている。国の情報収集に隣人が手を貸しているかもしれないと互いに疑心暗鬼・相不信の念を抱かせる恐れが大である。それはくつろいだ「ユンタク」をためて「ユンタク」という言葉で代表される沖縄の地域社会の横のつながりを維持し発展させていく上で大きな障害となる。戦中、軍によってスパイ監視の目的で住民が密告を強いられた。住民によるスパイ容疑者の制裁さえもたらした沖縄の悲劇を繰り返してはならない。

「土地規制法」という希代の悪法を廃止させるべく沖縄の市民と自治体議員有志の「土地規制法の廃止を求める沖縄県民有志の会」が取り組みを始めた。宮城さんがその身をもって明らかにされたヤンバルの自然の危機、そして日本の表現の自由の危機をしっかりと見つけ、克服していきたい。土地規制法をかりやすく説明したマンガパフレットを用いた学習会なども企画している。活動については同会のホームページをご覧ください。

「土地規制法」が施行される何かが起るかを、同法制を

を

を

を